

学校教育目標	自ら学び よりよく生きようとする「板城っ子」の育成 自分が好き 友達が好き 学校が好き ふるさと板城が好き	経営理念	【ミッション】(自校の使命) 確かな学力と社会性を身に付け ともに伸びようとする人間力の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ・活気ある温かい学校 ・自らかかわり、伸びようと努力する子どものいる学校 ・教育公務員としての自覚と意欲をもち、協働して本校教育を創造する教職員のいる学校
--------	--	------	--

評価計画						自己評価					
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析
							10月	2月			
確かな学力	1	自ら学ぶ態度の育成と学力の向上	基礎・基本の学力の定着・向上 表現力の向上	○主体的にかかわりあって学ぶ学習活動の実践 ○表現力を育成する学習活動の実践研究	・単元末テストの思考・判断・表現項目の正答率70%以上の児童の割合 ・全国学力、学習状況調査、NRT学力検査【全国平均値以上】	80%	単元末テスト 82.5% NRT学力検査 全国学力、学習状況調査 達成率90%	単元末テスト 94.9%	106%	3	・前期に比べ、単元末テスト(国語科・算数科)の到達度は上がった。特に、国語科は、全ての学年が目標を達成している。
				○ICTの効果的な活用の推進	・情報活用に関する児童アンケートの肯定的評価	80%	児童アンケート 肯定的評価 86.7%	児童アンケート 肯定的評価 89.9%	113%	4	・「インターネットを使って、知りたい情報を集めることができますか。」という設問に10月では、肯定的回答だったものは、89.3%だったが、後期は97.5%になった。 ・タイピングの速度に対する設問では、あまり数値の伸びが見られなかった。今後、日常的に学習に取り入れ、活用する方法を探っていく必要がある。
豊かな心	2	社会生活を円滑に進めたいける資質や能力の向上	自己指導能力の育成向上 自己肯定感の向上	○自分や友達の良さに気づき、自己肯定感を味わう活動の推進	・児童アンケート「自分の良さや友達の良さに気付いている、自分の良さが認められている」と感じている児童の割合 ・教職員アンケート「児童に思いやりの心や多様な他者と協働する力が付いている」と感じている教職員の割合。	85%	児童アンケート 肯定的評価 92.7% 教職員アンケート 肯定的評価 89.5%	児童アンケート 肯定的評価 92.7% 教職員アンケート 肯定的評価 90.9%	109%	4	・児童アンケートの結果、10月よりも自己肯定感や他者肯定感が高いと答えている児童が多く、教職員アンケートでも他者と協働する力が付いているという結果であった。11月実施の学習発表会や12月実施のランニングチャレンジを通して友達の良いところを見つけ、表現する力や協働する力が付いてきていると考えられる。
				○学級の支持的風土を醸成し、学校満足度を向上させる活動の推進	・hyper-QUIにおける学級生活満足群の全校児童の割合。	78%	82%	83%	106%	4	・第1回目のhyper-QUIの結果を生かして各クラスで取り組みをした結果、前回よりも1ポイント上がった。自他の良さを認め合う授業を日々行うことが、学級生活満足群の児童が増えることにつながると考える。要支援群に属する児童に関しては、日常観察を重点的に行い、学校や学年でしっかり連携し、指導していく。
健やかな体	3	健やかな心身の育成	体力の向上	○体育朝会(板城っ子ランニング・縄跳び・マッスル体操等)の充実 ○体を動かす場と機会を確保する。	・新体力テスト「50m走」の記録が伸びた児童の割合。(4月・11月実施)	75%		72.5%	96.7%	3	・「50m走」の記録が伸びた児童の割合は、72.5%と目標の75%に2.5ポイント足りなかった。体育朝会、体育の授業の始め、体育委員会の取組など継続的に取り組んできたが、目標には達しなかった。これをさらに継続して取り組むことによって記録が伸び、目標を達成することができると考える。
				健康的な生活習慣の形成	○生活習慣の改善とメディアとの適切なかわり方に関する指導の充実	・「板城元気っ子デー」での生活習慣に係る項目を全てで達成した児童の割合。	90%	板城元気っ子デー9月6ポイント以上 98.6%	板城元気っ子デー2月6ポイント以上 98.3%	109%	4
信頼される学校	4	家庭・地域とともに歩む学校づくり	家庭・地域との信頼関係の構築	○地域の教育力を活かした教育活動と、地域の方へ感謝を伝える取組の推進	・保護者及び地域へ学校行事等の参加を促すための案内を、年10回以上行う。 ・地域と連携した教育活動を各学年一回以上実施する。	95%	100%	100%	105%	3	・学校行事等の案内は保護者地域へ年間を通して10回以上発信している。 ・各学年の地域と連携した教育活動については年間計画に沿って実施し、地域のグェスティーチャーから学ぶ活動を積極的に取り入れた。
				○学校ホームページ更新や学年通信発行を通して教育活動について発信 ○学校情報の積極的発信(CRM)の効果的な活用)	・「板城っ子ニュース」年間10回以上更新。学年通信を年間15回以上発行。 ・保護者アンケート「学校は教育活動の様子をわかりやすく伝えられている。」における肯定的評価。	95%	保護者アンケート 肯定的評価 98%	板城っ子ニュース、学年通信発行年間平均15回以上 保護者アンケート 肯定的評価 93%	101%	3	・「板城っ子ニュース」学年通信については年間平均15回以上発信した。保護者・地域に対して学校行事や学年の様子を計画的かつ定期的に掲載できた。 ・保護者アンケート「学校は教育活動の様子をわかりやすく伝えられている。」における肯定的評価は年間平均96%の高評価を得た。